

日本中央競馬会 令和3年度畜産振興事業
未来の畜産女子育成プロジェクト事業 研修参加者 応募要領

1. 目的

我が国の畜産業の活性化と商品開発や市場開拓において新たな思考や発想が必要であり、そこに女性の参画が強く求められている。これを推進し、次世代畜産界を担う農業人材を育成するため、畜産を目指す若年層に畜産業の可能性を認識させ、広い視野と国際感覚、表現力を養うことにより意識改革を促す必要がある。そのため、畜産業が盛んで、かつ女性が農業界で活躍する諸外国において、農業系高等学校生徒を対象とした研修を実施する。

2. 実施団体

公益社団法人 国際農業者交流協会（以下、協会と記す）が事業の実施団体として、デンマーク王国（以下、DK）のカウンターパートと提携して研修を実施する。

3. 助成母体事業

日本中央競馬会（以下、JRAと記す）の令和3年度日本中央競馬会畜産振興事業（事業の実施・運営は、公益財団法人 全国競馬・畜産振興会が行う）

4. 事業内容

(1) DK畜産業と畜産業における女性の活躍現場の研修

研修参加者は、DKカウンターパートがオンラインにて提供する講義や学習、DK内の農家や農業関連施設訪問時に行うインタビュー等を通じて、同国の畜産業（特に養豚に注目）と女性の活躍状況を総合的に学び、この研修により得た知識と経験を基に本事業成果の啓発活動を行う。

(2) 研修効果発現の検証

研修参加者の意識調査を研修実施前後に行い、自身にとってどのような研修効果がもたらされたかを検証するとともに、同一年度内に畜産業の魅力と重要性を促進する啓発活動として畜産アンバサダー活動を行い、学内・外においてどのような啓蒙がなされたか、関係機関の活動に参加して、学んだことを共有する機会をどのように生かすことができたか等について追跡調査を行う。また、それらの活動を通じて、参加者各自の意識や将来計画等にどのような影響や変化があったかについて聞き取り調査を行う。

5. 研修内容

以下の内容を核とした構成とし、これらに付随した講義、視察、学習をオンラインにて行う。

- 事前研修を通じて研修の意義、目的、心構え等を学ぶとともに本研修の準備
- コミュニケーションツールとしての英語力の重要性を認識し実践的に学習
- DKの畜産業の現状学習（新しい技術や考え方、国の政策や取り組み、農業生産者組合等の組織、マーケティング戦略等）
- 農業後継者育成の現状学習（後継者の場合、新規就農の場合、その他）
- 女性の農業現場及び農業経営への参画状況等、女性農業者への聞き取り
- 女性が経営のトップに就いている農業団体等への聞き取り
- DK農業学生との意見交換（職業としての農業・畜産業の位置づけと意識、就農に対する姿勢、将来展望・計画など）

- 研修参加者による研修成果発表（オンライン）
- 研修報告書の作成、提出

6. 実施時期、期間、場所

- 事前研修 令和3年6月14日（月）～18日（金） オンライン
- 本研修 令和3年8月16日（月）～27日（金） オンライン
- 研修成果報告会 令和3年9月22日（水） オンライン

実施時期や期間は、都合により変更となる場合がある。

7. 研修参加者（生徒）、募集人数と対象者及びメンター

- 研修参加者（生徒）

募集人数 20名

応募資格

- A) 日本国籍を持ち、心身ともに健全なこと。
- B) 農業に関する学科（農業科、畜産科等）を設置する高等学校で、1年以上学んでいること。また、農業関連学科所属でなくても、畜産業に関するバックグラウンドがあり、将来畜産生産に携わることを目指している方も応募資格対象とする。
- C) 明確な研修目的を持っていること。
- D) 英語の初歩的素養があり、英語を積極的に学ぼうという意識が強いこと。
- E) 自分の考えや意見を積極的に相手に伝えることができ、畜産アンバサダー活動ができること。
- F) 事前研修、本研修、研修成果報告会、畜産アンバサダー活動のすべてに参加できること。
- G) 所属高等学校長の推薦が得られること。
- H) 過年度の本事業に参加したことがないこと。

- メンター（指導者） 2名

海外農業研修経験を有し、畜産業で活躍する若手女性畜産農家や研究者等から協会が選任する。

- 役割：① 事前研修や本研修に参加し、研修参加者に日本の畜産業の現実と将来性や魅力を伝える。
- ② 研修で得た情報を取りまとめ、研修報告書を作成し提出する。
 - ③ 参加者の畜産アンバサダー活動に協力するとともに、本事業の目的である女性就農（特に畜産業）を促す広報活動に協力する。
 - ④ 事業推進委員会、事業成果評価委員会に出席し、各委員の判断に資する意見や情報を提供する。

8. 応募方法（研修参加者）

《研修参加者（生徒）》

所属する高等学校を通じて必要書類を協会に提出する。

なお、1高等学校から1名の応募とする。

（1）募集期間

令和3年4月26日（月）～令和3年5月20日（木）午後4時

(2) 募集方法

農業高等学校関連団体（全国農業高等学校長協会、全国高等学校農場協会）を通じて本事業を周知する。

(3) 応募書類

次の5点とする。

- A) 申込書（様式1）
- B) 課題作文（様式2 題目：①私の将来の夢） A4原稿用紙2枚
- C) 画像・映像の使用ならびにメディア取材承諾書（様式3）
- D) 同意書（様式4）画像・映像の使用ならびにメディア取材承諾書（様式3）
- E) 所属高等学校長の推薦書（様式5-1、5-2）

(4) 応募方法

上記（3）A～Eの応募書類を所属高等学校で取りまとめPDFファイル化し、応募書類一式を締切日時までに次の通り電子送信すること。

- 送信先Eメールアドレス： mirai@jaec.org
- メールタイトル：【学校名】令和3年度未来の畜産女子育成プロジェクト申込
- メール本文内に以下の事項を加えること
 - ア. 研修申込者氏名とふりがな
 - イ. 所属高等学校名とふりがな
 - ウ. 研修申込者担当教員氏名とふりがな、
 - エ. 研修申込者担当教員の連絡先（緊急連絡先の電話番号、Eメールアドレス）
 - オ. 下記（6）に示すオンライン面談について、令和3年5月21日～28日の期間内で研修申込者が可能な日時、時間帯を3つ以上

本会でEメール受信の確認をした後、申込完了のEメールを送信する。メール送信後2日以内（土日、祝日を除く）に受付確認のメールが届かない場合、下記「18. お問い合わせ先」まで電話にて連絡ください。

(5) 応募の締め切り

令和3年5月20日（木）午後4時迄のEメール必着

(6) 参加者の決定

- ① 書類審査とオンライン面談を個々に行う。
※オンライン会議アプリZoomを用いる予定であり、インターネット接続機器、アプリのダウンロード、通信手段、環境等の準備や確認を事前しておくこと。なお、面談中、通信環境が悪い、通信障害が発生してしまう等の不測の事態があっても、参加者決定に左右されるものではない。オンライン面談がうまく行かない場合、別の機会に再度行うか、電話での面談に代えるものとする。
- ② 応募者多数の場合、書類審査と面談により20名を決定する。
- ③ 結果は、様式5の推薦書に記載のある研修参加者担当教員宛に令和3年6月1日（火）までにEメールにて所属高等学校に通知します。
- ④ 参加決定者は、申込書類原本を令和3年6月7日（月）までに必着で所属高等学校を通じて協会に郵送する。

郵送先住所：〒144-0051 東京都大田区西蒲田 5-27-14 日研アラインビル 8階
公益社団法人 国際農業者交流協会
未来の畜産女子育成プロジェクト 担当行

9. 参加費用（研修参加者が負担する費用）

個人的経費以外の費用は、本プロジェクトで賄われる。

なお、事前研修及び本研修はオンラインで実施するため、参加するにはパソコンやタブレット端末等のインターネット接続機器、音声・動画通信の可能なインターネット環境が必要となる。研修参加者がそれらを準備できない場合、貸与を行う。

10. 研修参加決定後の辞退

都合により参加を辞退する場合、研修参加者や保護者から直接連絡するのではなく、所属高等学校の研修参加者担当教員が辞退の理由を明確にし、電話又はEメールにてその旨を速やかに協会に通知する。

辞退の時期により、万一当事者に関わるキャンセル費用が発生した場合、その実費は自己負担とする。

11. 報告書作成、フォローアップ調査への協力

- 研修参加者、メンターは、それぞれの視点から所定の研修報告書を作成し、期日までに協会に提出する。
- 研修参加者は、「畜産アンバサダー」として、所属高等学校内外の発表会等において当研修で得た知識・経験を基に、研修成果と畜産の魅力を広く伝えることに積極的に参画する。

12. 事業推進委員会、及び事業成果評価委員会の設置

事業が善良に、かつ適正に推進されるため、また、事業終了時に事業達成目標に関する自己評価を行うためにそれぞれの委員会を設置する。委員は、外部専門家、外部有識者とする。

13. 事前調査

協会は、事前にDK関係者を通じて、以下の項目に関する事前調査を行う。

- ・ 現地教育機関に協力依頼する内容（講義、交流、視察・通訳の手配等）に関する打ち合わせ
- ・ 農業・畜産分野において活躍する女性へのインタビューによる現状調査と事業への協力依頼
- ・ 提携する現地教育機関の校舎、施設、環境、講師、スタッフ、周辺の農家や農業関連施設の状況を確認
- ・ オンライン研修を実施する際の留意点（文化・習慣、通信環境等）の確認

14. 研修の日程

(1) 事前研修（オンライン）

期間：令和3年6月14日（月）～6月18日（金）

時間：16時～18時の2時間を予定（途中、休憩あり）

(2) 本研修（オンライン）

期間：令和3年8月16日（月）～8月27日（金）

時間：16時～19時の3時間を予定（途中、休憩あり）

事前研修及び本研修どちらも内容については別途定め、参加者決定後に案内する。

研修参加者をサポートする担当教員は、事前研修及び本研修の一部に任意で参加することができる。なお、どちらの研修もオンラインで実施するため、参加するにはパソコンやタブレット端末等のインターネット接続機器、音声・動画通信の可能なインターネット環境が必要となるが、担当教員参加のための電子機器や環境の準備、インターネット接続料、個人的経費等は担当教員の自己負担とする。

1 5. 研修成果報告会及び研修報告書の提出

令和3年9月中に中間発表会（内部）、令和3年9月22日（水）に外向けの研修成果報告会をオンラインにより実施する。また、研修参加者は、所定の研修報告書を令和3年10月1日（金）までに協会に提出する。

1 6. 報告書の取りまとめと製本、配布

協会は、後代の参考の資とするため、また、関係機関に広く研修成果を活用してもらうために、参加者の報告書を基に研修報告書を取りまとめ、研修参加者、全国の農業高等学校、関係機関等に配布する。

1 7. 畜産アンバサダー活動

- 研修参加者は、畜産アンバサダーとして、所属高等学校内外における研修報告会等を通じて担い手の確保、畜産現場における女性の活躍推進をテーマに研修成果の積極的な普及活動を行う。
- 本活動は、研修参加者が所属高等学校にて最低1回、協会主催の国際化対応営農研究会にて1回実施する。また、出身地域や、畜産関連団体等からの要請によっても実施できる。なお、国際化対応営農研究会への参加の場合、研修参加者をサポートする担当同行教員1名に対し、協会の規程に従って、交通費・日当・宿泊費が支払われる。
- 本活動を行った際には、その都度、所定の報告書を作成する。
- 各活動においてアンケートを取り、活動の効果を計る。

1 8. 問い合わせ先

公益社団法人 国際農業者交流協会

未来の畜産女子育成プロジェクト担当（石原 / 皆^{かいと}戸）

住所（郵送物宛先）

〒144-0051

東京都大田区西蒲田5丁目27番14号 日研アラインビル8階

公益社団法人 国際農業者交流協会

未来の畜産女子育成プロジェクト 担当行

- 電 話 03-5703-0252
- F A X 03-5703-0255
- Eメール mirai@jaec.org